

優秀賞

防火管理再講習の オンデマンド配信



福岡県 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部

事例類型	I 実効性向上／Ⅲ 効率化
取組期間	令和 4 年 1 月から

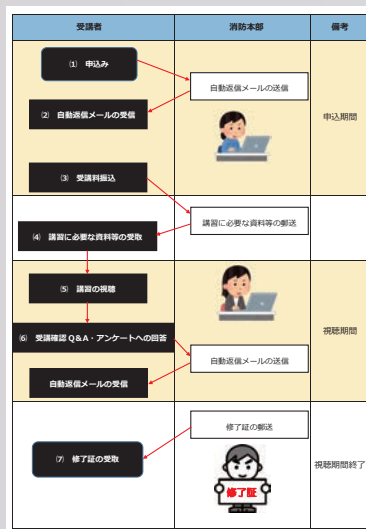
背景

当消防本部では、消防法施行規則第 2 条の 3 第 1 項に規定する甲種防火管理再講習対象者への再講習義務とは別に、条例により、当消防本部管内にて消防法の規定により定められた防火管理者及び統括防火管理者に対して再講習を義務付けている。そのため、法令はもちろんのこと条例の再講習受講対象者へ毎年再講習実施の通知を行っている。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響等により、防火管理の各種講習は感染拡大当初中止を余儀なくされた。その後、国の出す指針に基づき、規模を縮小して講習を行っているが、需要過多となり、十分な講習会受講者定員数を確保できない状況になっていた。そのため、再講習受講義務対象者が年度を追うごとに増加していくこととなった。令和 3 年度は、年度当初の再講習受講対象義務者の数に対して約 26%の受講者定員数しか確保できない状況となり、今後、いかに受講者定員数を確保していくかが課題となっていた。

そこで、当消防本部の防火管理者選任率は、約 91%と全国的に見ても高い傾向にあることもあり、実技講習もなく講習時間の短い防火管理再講習のオンデマンド配信に取り組むこととなった。

内容



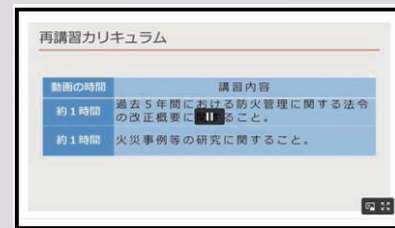
申込みから修了証取得までの流れ

1 申込みから修了証取得までの流れ

- 申込み
インターネット申込みで受付
受付後、メールにて受講までの流れを案内
- 受講料振込
支払方法は銀行振込
支払い確認方法は、「JA ネットバンキング」を活用
- 資料等の発送
レターパックライトにて「パスワード等を記載した案内文、テキスト、領収証」を発送
- 講習の視聴
視聴期間中、ホームページに動画を公開
受講者は、事前に送付されたパスワードを入力して視聴
- 受講確認 Q & A・アンケートへの回答
受講者は、視聴後に受講確認 Q & A・アンケートに回答
メールにて Q & A の解答及び解説、修了証交付までの流れを案内
- 修了証の発送
簡易書留にて講習受講者に修了証を発送

2 講習動画の作成

Microsoft PowerPoint の録画機能を活用して動画を作成した。作成した動

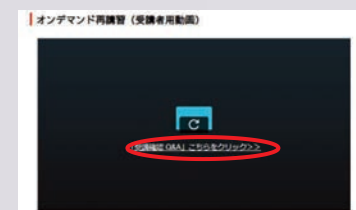


講習動画（プレイヤー非表示）
※一時停止は可能

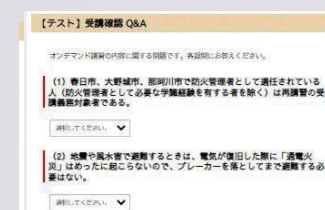
画を動画配信サービス「Vimeo」を活用して、ホームページに埋め込んだ。プレイヤーを非表示とすることで、早送り再生による不正の防止を図った。講習動画の内容で気をつけたことは、スライドの内容を簡潔にすること、話し方をはっきりと丁寧にゆっくりとすることであった。オンデマンド講習では集合講習とは違い、受講者の反応を見ながらスライドを動かすことや話し方を変えたりすることができない。また、プレイヤーを非表示にするため巻き戻すこともできない。そのため、受講者がいかに聞きやすい講習にするかを心掛けた。

3 受講確認のための取り組み

受講者が講習を受講したかどうかの確認方法の一つとして、カメラ等による受講の確認があるが、費用等の問題から取り入れることはできなかった。そこで、受講確認 Q & A に回答してもらうことで受講の確認をすることとした。動画視聴終了後、回答フォームへのアクセス画面を表示して、回答フォームにアクセスさせ、8 問ある問題に回答してもらう。なお、問題は講習を視聴していれば分かる内容としており、講習動画内で極力等間隔（約 15 分間隔）に出題する内容のスライドを配置している。なお、回答フォームは一定の正解率でないと先に進めない設定にしているため、講習の受講確認は容易に行うことができる。



回答フォームへのアクセス画面



受講確認 Q & A 回答フォーム

4 インターネットに精通していない者への対策

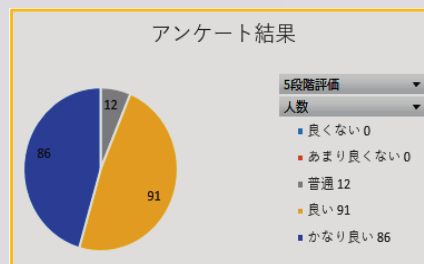
年度を通じて 1 回のみ、集合講習を行った。なお、申込みはインターネットのみでなく窓口申請での受付も行った。

成果

令和 4 年度の防火管理再講習は、オンデマンド方式（定員 100 名）3 回、集合講習方式（定員 45 名）1 回を計画している。令和 4 年 12 月 1 日現在、令和 4 年度の防火管理再講習修了者は 234 名となっており、すでに昨年度の修了者を大きく上回っている。なお、令和 5 年 2 月に第 3 回オンデマンド方式防火管理再講習を行う予定であるため、修了者はさらに増える見込みとなっている。このように、防火管理再講習の定員数を拡大し、修了者を増やすことで、防火管理者の火災知識の更新を行うことができ、事業所等の消防力を向上させることができると考える。

また、オンデマンド方式で講習を行うことにより、他にも 2 つのメリットがある。1 つ目は、受講対象者が視聴期間内であれば都合の良いときに受講できることから、日程調整の必要がないということ。2 つ目は、集合講習ではないため、新型コロナウイルス感染症等の対策としても非常に有効となることである。

なお、オンデマンド方式の講習受講者に、オンデマンド方式による防火管理再講習の意見を 5 段階評価で求めたところ、93.6%の受講者が好意的な意見（5 段階評価の 4 以上）であり、不評な意見（5 段階評価の 2 以下）は「0」であった。このことから、講習のオンライン化が求められており、当消防本部は、防火管理再講習のみではあるが、その要望に応えることができたと考えている。



特記事項

【今後の展望】

令和 4 年度は、実施初年度ということもあり、オンデマンド方式の講習の定員を 100 名としていたが、マニュアル等を定めることで効率化を図り、定員数を拡大する予定である。今後は、他の講習のオンライン化に繋げていくことができたかと考えている。